

1, 「旧制度」 = 「( )1・レジーム」  
 フランス絶対王政--( )2王朝 (1589年アンリ4世~1792年ルイ16世)  
 第一身分--聖職者 第二身分--貴族、 ( )3身分--市民・農民  
 18世紀フランス2653万人の内 135000人 400000人 26000000人  
 人口の2%・種々の特権 人口の98%・さまざまな負担  
 1615年以後( )4の招集を停止---ルイ13世  
 ルイ14世(1643~1715)---インド、北アメリカに植民地・[ ]5宮殿建設・侵略戦争  
 →そのための重税 → 当時人口の10人に1人、約200万人がホームレスとも。  
 ルイ15世(1715~74)---7年戦争(1756~63)など→多くの植民地を失う。豪華な宮廷生活。  
 →18世紀後半、国家財政( )6

2, フランス革命(1789年~)  
 フランス( )7思想 アメリカ合衆国の独立 →国民主権、自由、平等を求める動き  
 ルイ16世(位1774~92)  
 「財務長官にテュルゴー❖a(任74~76)、( )8❖b(任76~81,88~90)を起用  
 →財政改革---特権身分への( )9を検討  
 ↳アメリカ独立戦争(1775~)への支援→財政赤字の悪化  
 ❖a---重農主義経済学者。ギルドの廃止、穀物取引の自由化を行うが、特権身分の反対で辞任。  
 ❖b---第三身分の銀行家。スイス人。王妃[ ]10❖cに質素儉約を進言して81年罷免。1788年再就任を求められ、  
 ( )11開催を条件に長官就任。89年7月解任されるがバスティーユ事件後再任。90年9月まで。  
 ❖c---1755~93 オーストリアのマリア=テレジアの11女。1770年ルイと結婚。74年フランス王妃。  
 1786年 英仏通商条約 → イギリス商品の大量流入・国内産業の不振・凶作→各地で騒乱  
 1788年 1615年以来開かなかった三部会召集を布告。  
 →「第三身分」---議会政治と( )12制定を求める。  
 ( )13❖d(1748~1836)『第三身分とは何か』を発表⇒「[ ]14である」。  
 ❖d---第三身分出身、聖職者、革命指導者。総裁政府総裁。臨時執政。王政復古により追放。

1789年  
 5月5日 「三部会」開会(ヴェルサイユ宮殿)→議決方法をめぐり紛糾  
 6月17日 第三身分が「( )15議会」を発足させる。19日第一身分が合流。政府は議場閉鎖。  
 6月20日 「( )16の誓い」→第三身分議員が球戯場で憲法制定まで解散しないことを誓う。  
 7月9日 「( )17制定国民議会」と名称変更  
 7月14日 パリ市民[ ]18監獄(要塞)=専制の象徴=襲撃→地方でも反乱→「仏革命記念日」  
 8月4日 「( )19的特権の廃止」を宣言  
 →聖職者・貴族の封建特権---領主裁判権・租税免除などの( )20廃止・年貢徴収権の有償廃止  
 農奴身分、教会の( )21税の廃止  
 8月26日 「フランス( )22=人(homme)及び市民(citoyen)の権利宣言」公布。起草( )23❖e(1757~1834)  
 「人は生まれながらにして自由、平等。全ての主権は国民にある。人の自然権には王政への抵抗も含まれる」  
 ⇒第1条で自由と平等、第2条で天賦( )24、第3条で( )25主権、第11条で思想・言論の自由を、第  
 17条で( )26の不可侵を唱える。 ( homme=男性 citoyen=男性市民 )  
 ❖e---貴族。19歳でアメリカ独立戦争に義勇兵として参加。立憲君主制を支持して革命に参加。バスティーユ襲撃後の国民衛  
 兵司令官。シャン=ド=マルスの虐殺後、司令官を辞任。革命戦争で司令官に復帰。王権の停止後、オーストリアに亡  
 命。のちアメリカに渡り歓迎される。  
 →ルイ16世、これらの宣言の承認を拒否・不作による食糧難  
 10月5日 [ ]27行進❖f

❖f---女性を中心としたパリの民衆=( )28がヴェルサイユに押し掛け国王と議会をパリ市内の  
 テュイルリー宮殿に移す→ルイ16世は人権宣言などを承認

【国民議会】  
 主導--- 「( )29❖g(1749~91)、ラ=ファイエットら自由主義的な貴族  
 ↳立憲王政派---貴族と右派富裕市民=( )30=を代表  
 →「ギルドの廃止・商品取引の自由  
 ↳財政再建のためカトリック教会財産の( )31=没収❖h などの改革を推進  
 ❖g---貴族でありながら第三部に属し革命の初期を指導し、立憲君主制を主張した。91年病死。  
 ❖h---貴族・聖職者だったタレーラン(1754~1838)による。かれは90年国民議会議長、[ ]32法提案。  
 その後総裁政府、統領政府の外相、ナポレオン時代と王政復古期も外相を務めた。

1791年  
 6月 ( )33逃亡事件 ルイ16世一家が逃亡を企て、北東部ヴァレンヌで発見、連れ戻される。  
 7月 シャン=ド=マルス(練兵場)の( )34 議会とラファイエットが国王廃位の署名を行う共和派  
 の集会を国民衛兵に発砲させ弾圧=死者10数人~50人  
 8月21日 ( )35宣言 王妃の兄神聖ローマ皇帝レオポルド2世(位1790~92)とプロイセン王  
 フリードリヒ・ヴィルヘルム2世が「必要な武力を用いる」と革命への干渉を唱える。  
 9月3日 憲法制定→「( )36憲法」  
 一院制=立法議会・( )37選挙→立憲( )38を樹立  
 【カリブ海のサン=ドマング】 ハイチ革命(1791~1804)→別プリント  
 ↳イスパニョーラ島=仏領「サン=ドマング」、スペイン領「サン=ドミンゴ」=の西3分の1  
 ↳クリオーリョ=現地生まれの白人=による大農園→コーヒー、[ ]39生産  
 →人口の90%が黒人奴隷。全ヨーロッパの需要の半分以上を供給→フランスに多大な利益  
 1791年8月 仏領サンドマングで奴隷反乱→スペイン・イギリスの軍事介入  
 1792年4月 立法議会は有色自由人の( )40を決議→黒人奴隷反乱は拡大



- ・憲法(2) ・課税 ・第三 ・無償 ・人権 ・制限 ・虐殺 ・国民 ・破綻 ・平等 ・啓蒙 ・封建 ・君主政
- ・国有化 ・球戯場 ・所有権 ・1791年 ・三部会(2) ・十分の一 ・人権宣言 ・ネッケル ・ミラボー ・ブルボン
- ・シェイエス ・アンシャン ・ピルニッツ ・ヴァレンヌ ・ラ=ファイエット ・サン=キュロット ・ブルジョワジー